

東熊会会員による「里帰り講話」概要

日時 平成29年10月27日(木) 13:30~14:40
場所 かわせみ旅館「石の倉」
対象 球磨中学校生徒、教職員等
講師 株式会社GLOBAL VISION
CEO兼代表取締役社長 田中 良一 氏
参加者 130人(生徒109人、教職員等21人)
テーマ グローバル人材に必要な資質とその学び方



【講話概要】

英語ができるかできないかに関わらず、外国での仕事や外国の人との仕事が含まれてくるのが世の中である。英語が全てではないが国内に居ても仕事で英語を使う時代である。

なぜ日本はグローバル化が必要なのか

江戸時代の鎖国や明治維新によって日本は外国との繋がりが深くなった。今では日本は車の世界でも造船の世界でも 1。自分がどういうビジネスをしていくのか。新しいビジネスを作っていけないと狭い日本では生きていけない。そのような時代になったのでグローバルな人材が必要とされている。そのために入試を変えようという動きが始まる。

入試改革

2020年の入試にはスピーキングテストが入る。これからは英語で英語を教える授業が始まることで教育環境が大きく変わる。インターナショナルな人材を育てようとしている。

色々な仕事は日本だけ、熊本だけではなく、様々な国の地球規模でビジネスが起こっている。それに伴い、地球一つが一つの国のようになり、色々な経済活動や人の交流が始まる。それがグローバル化である。海外のどこへ行っても世界共通語は英語である。

トランスナショナル

最適な場所と組織を置いて地球規模での活動を求める時代になってきている。

グローバル化された世界の公用語は英語。全世界で日本語を話す人はわずか1,7%である。ネイティブイングリッシュ(アメリカ・イギリス・カナダ・ニュージーランド・オーストラリア)で話している人よりも非英語圏で英語を使っている人の方がはるかに多い。英語を使いこなせる教育をどのようにしていくかが大事な時代になる。

目的を達成するためには言葉を道具として将来、自分がやりたいことをどのように実現していくかが大事。そのためには英語一つを身につければ今後の大きな道具になる。

グローバル化について

色々な人種・文化の違いがある。日本にも色々な国から企業が来て、その人たちが採用をしたり一緒に働いたりしている。

大学生のグローバル化に対する意識について

グローバル化は避けられない。しかし英語力に不安がある人は多い。

グローバル人材は英語が話せてあたりまえ。でも英語が話せるだけではダメ。例えば会議で反応がないと「アイツは何も言わない。無能だ。」と言われる。異文化の違いを理解してコミュニケーションをとる必要がある。

どの教科でも勉強のやり方を工夫している人は、成績が伸びる傾向がある。

- ・文法やフレーズを口に出して練習する人が英語を話せるようになる。
- ・インプット(聞く・読む)、
アウトプット(覚えたことを紙に書く)
このようなことをしている人はスピーキングやコミュニケーションができる。
- ・ノートの取り方で成績のいい人、悪い人の大きな差が出る。ただ黒板の文字を写すだけの人は成績が良くない。先生の話や教科書の内容などを書いて自分なりに考え、理解し、工夫している人の方が成績は良くなる。

なぜ繰り返し練習が必要なのか

勉強は毎日10分~15分でもできるので毎日やるかやらないかで大きく差が出る。

日本の高校生の英語力はアジア最下位

英語のインプットが足りないからである。一定の英語が使えるレベルをマスターするためには2200時間かかると言われているが、中高6年間で触れる英語は920時間しかない。

勉強でも社会に出てからでも、できない理由を考えるより、どうしたらできるのか、できる理由を1つ考える方が前進する。

学校での勉強では英語力は身に付かない。10分、15分、家でやるのが大事。

Fun Go

数十年前から韓国や中国の中学校・高校・大学で導入されているスピーキング力を鍛えるアプリ。発音、ピッチ、リズムなど点数をつけてくれるので相手に伝わる英語が学べる。

高卒の求人数と求職数

少子化問題などで高卒の採用は少ない。高校を出て就職するのか、大学を出て就職するのかを考えておくべきである。

ロボットが授業の主演に

MUSIO(ミュージオ)の学校での活用事例

ロボットと英会話の練習ができる。正しく発音しないと会話が進まない。

これからは色々な国の人と働かざるを得ない。

生徒からの質問

辛いことを乗り越える原動力となったものは何か。

田中氏の回答

自分のできることとできないことがわかっている。社員とどのように達成していくのか考える。違う考えを持った人が集まった方が解決する。